



朝夕はめっきりと寒くなり、雪の便りも聞かれるようになりました。学校では、ストーブも出されて冬の寒さ対策が早々と行われています。カメムシが多い時は寒くて雪が多くなるなどと言ったりしますが、今期の冬はどうなるのでしょうか。例年に比べてカメムシは多いような気がします、あまり寒くて雪が多いのも困りものですが、果たして…。

☆ 浜田市連合音楽祭への参加ができませんでした！

11月8日（水）に行われた浜田市連合音楽祭に、雲雀丘小学校も出演する予定でしたが、インフルエンザ罹患者が多く出演を断念しました。前日は、欠席者も2名ほどで何とか大丈夫かなと思っていましたが、当日いっきに20名近くが欠席となり、出演を見合さざるを得ませんでした。全校に広がる気配がありましたので、その週は学校閉鎖という措置を取りました。幸い、今は落ち着いていますが、市内では今もインフルエンザが猛威をふるっているようです。コロナの3年間は、インフルエンザの流行をほぼほぼ聞かなかったのですが、その反動かウイルスへの耐性が落ちているのかどうか、その感染力の強さと広がりやすさは驚くほどです。皆様もどうかお気をつけください。

連合音楽祭で披露するはずであった演目は、合奏「雲雀丘小学校校歌」、合唱「Smile Again」でした。雲雀丘小学校としての最後の出演（3～6年生）となるはずでしたので残念でなりません。子どもたちは、音楽祭を目指して一生懸命練習をしてきましたので、代替えの披露の場を11月28日（火）の授業公開日に設定をします。

13:30～13:40 3・4・5・6年生による合奏、合唱（雲雀丘小学校体育館）

13:55からは授業公開も行いますので、保護者の皆様はもちろん、地域の皆様方にも来校していただくととても喜ぶます。

☆ 本の読み聞かせと読書習慣

雲雀丘小学校では、毎週水曜日に本の読み聞かせを行っています。読み聞かせボランティアの方が5名おられて、1・2年生を対象とした週と3・4・5・6年生を対象にした週の隔週で行っています。子どもたちも読み聞かせをとっても楽しみにしています。

私たちは、子どもたちに読書をしなさいとよく言います。本の読み聞かせも、子どもたちに読書の習慣をつけてほしいという願いから行っています。読書をするといったい何がどうよいのでしょうか。ある大学の先生が、読書をする「右の脳も左の脳も、前頭葉前野を含め大きな場所がいっぺんに働く」とおっしゃっていたのを聞いたことがあります。前頭前野はヒトにおいて著しく発達し注意、思考、意欲、情操の「座」となるとあります。とするなら、この脳の部分が活性化し発達するということは、心の働きが豊かになることであり、学習においても思考する力が

伸びるということにつながっていきます。読書をするという行為は、単純に言葉を覚えたり知識を増やしたりといったことにとどまらず、人間としての成長に大きくかわるといえることになります。やはり、読書は大切です。

